



ほけん館NEWS



発効日：2018年1月05日 発行人：本部 菱沼晶子

原付を買ったら 自動車保険に加入するの？



原付で走行中のAさんは、相手方が赤信号で停車したところ、止まりきれず追突してしまいました。今回の事故では相手車両が輸入車であるため、修理費は約35万円という金額になってしまいました。そしてすべてがAさんの事故負担となってしまいました。Aさんは体の痛みを我慢し、結局通院できませんでした。今回のケースだとどんな補償がついていたらよかったですか？上記事例では相手車両の修理費を払う事で解決となりました。しかし、ファミリーバイク特約(人傷)が付保されていれば、相手方の修理費とAさんの通院費、交通費、精神的損害を受け取れました。(自損)でもAさんが通院した場合には一日あたり4000円(100万限度)が受け取れました。なお、原付の走行では相手方や契約者が大怪我を負うケースも少なくありません。自動車保険で原付の補償ができます！ファミリーバイク特約に加入しましょう！

あまかち？
おもちの食べ方♪



ランキング

1. お雑煮



2. きなこ餅

3. 焼き餅

4. おしるこ



5. 磯辺焼き



犬猿の仲の由来ってなに？

発行年月日
2018年1月5日
編集長
本部
菱沼 晶子

編集長より
ひとこと

初詣2時間待ちに心折れてお参りできなかったので来年こそはリベンジしたいです(泣)



「犬猿の仲」という言葉は、仲が悪い者のたとえとして誰もが知っている言葉。しかし、実際には必ずしも犬とサルが仲が悪いということはありません。それではどうして「犬猿の仲」という言葉が生まれたのでしょうか。言葉の由来には諸説ありますが、そのひとつとして有名なのが干支にまつわる話です。十二支は、神様の元に向かうレースで、ゴールした順に決められたという逸話があります。レースの日、犬とサルは仲よく一緒に出発しました。しかしその道中で川に落ちたことがきっかけで両者は喧嘩となり、喧嘩した状態で神様の元へたどり着いたのが原因とのこと。また、逸話とは違う現実的な説もあります。猟の際に人間のお供として一緒に山に入った犬は、サルに出会うと威嚇して吠えました。それ以外にも、山から下り人の敷地内に入って来たサルに対して犬が吠える行動を見て、「犬とサルは仲が悪い」と認識されるようになり、「犬猿の仲」という言葉ができたともいわれています。「犬猿の仲」の由来には、ほかにもいくつかの説があります。しかし、実際の由来がどんなものであれ、犬とサルが昔から日本人にとって身近な存在だったため、このような言葉ができたということは間違いなさそうです。



お問い合わせ先

日北ヤガワラほけん館

本社担当：笠井、村上、早坂、佐々木

☎ 0120-788-993

南刈込担当：谷川原、倉西、本間、吉村、山田、櫻井

☎ 0120-82-6565

1月のお知らせ

自動車保険に保険料改定が始まります！

約9割の方が保険料引き下げの対象となります。見直しはほけん館まで！